

**日本福祉介護情報学会 学会ワークショップ参加申込みおよび
会員研究テーマに関するアンケートへのご回答のお願い**

日本福祉介護情報学会理事
(田園調布学園大学) 村井 祐一

先般、ニュースレター（2014年4号）を通じて本学会の川森理事より会員の皆様に下記のご案内をさせていただきました。

ご案内の最後の部分に「お願い事項」として、ワークショップ参加申込にあたっては、研究テーマや関心事項をお知らせ頂き、ワークショップの構成の検討、グループディスカッションのテーブル分けにあたっての参考情報とさせて頂きたいとお伝えしておりましたが、このたび、オンラインアンケートの準備が整いましたので、皆様にご案内させていただきます。

アンケートは以下の4つの質問で構成されています。

1. 会員の基本情報（会員番号、氏名、所属）

① 会員番号

② 氏名

③ 現在の所属

2. 現在、関心を持っている研究テーマ（最大5つ）

①

②

③

④

⑤

3. 会員ワークショップへの参加の有無

(参加 ・ 不参加)

4. 学会に期待すること（自由回答）

今回のアンケートは会員相互の研究交流活動充実に向けた基本情報の収集も兼ねているため、ワークショップの参加に関わらずすべての会員の皆様にご協力をお願い申し上げます。
(いただいた情報は、この目的以外には使用しません)

【会員アンケートのアドレス】 下記のリンクへアクセスしてアンケートにご回答下さい。

<http://goo.gl/forms/F797mr363N>

※本アンケートシステムはGoogle Formsを使用しています。

【メール・FAXによるアンケートの回答】 メール・FAXでの回答をご希望の方は上記の4つの質問にご回答頂き、学会事務局までメールまたはFAXにてご連絡下さい。

学会事務局 E-mail : info@jissi.jp

FAX : 048-471-7283

(参考) 1. 学会ワークショップのご案内 2014年第4号より

日本福祉介護情報学会理事
(NTTデータ) 川森 茂樹

日本福祉介護情報学会が発足して15年が過ぎようとしています。

学会発足時は、「福祉・介護の現場に機械（コンピューター）は馴染まないもの、福祉は人と人で成り立つものだ」と当然のことように言われるなかで、業務効率化とサービスの質の向上を目的とした先進的なコンピューターシステムの事例を集め、どうすれば情報化を進められるのか、現場に受け入れられるものになるのかを研究していました。

介護現場の情報化を進めるきっかけとなった介護保険法の施行を経て、今日では、「ホームヘルパーが利用者宅を地図で探してナビゲーションとして使う、薬や病名など知らない言葉を検索する、携帯電話やメールを使って外出先で連絡を取り合う」などは当然のことになっており、ホームヘルパーが手にしているスマートフォンはかつてのコンピューターよりも多機能で高性能なものとなっています。

また、医療介護総合確保法の施行により、市町村が主体となって、在宅医療・介護の連携・協働、地域包括ケアシステムの構築などの取り組みが進められることになっています。具体的には、地域の社会資源を可視化し、ネットワーク化を進め、福祉・介護職と医療職さらには多様な担い手がチームとなって自宅や地域で暮らす高齢者等の生活を連続的かつ包括的に支える仕組みをつくりあげる試みが全国各地で展開されようとしています。これらは、地域福祉の実践でありながら、視点を変えれば、その全てが「情報に関する活動」であり、意図的に情報を扱うことを意味する「情報化」とその社会的基盤の上でコミュニケーションを効率的に行うツールとしてICTを利活用する「ICT化」の実践であるとも言えます。

本学会においても「個人情報保護」に関する研究を積み重ねてきておりますが、個人を特定できる情報の扱い方を定めた個人情報保護法の時代から、それらの情報のプライバシー性を問い、プライバシー影響評価（PIA）を踏まえて情報活用のルールを定めるパーソナルデータの時代へと大きく舵が切れつつあります。福祉・介護においては、個々の生活上のプライバシーに立ち入ることなく必要とする支援やサービスを届けることが難しい特殊性があり、プライバシーを守りつつ、ベネフィットを確保する Privacy by Design の考え方が最も求められる領域であるとも言えます。

これらは、情報化・ICT化に関する研究テーマの一例であると言わざるを得ないほど、本学会を取り巻く環境は大きく変わってきています。学会発足以降15年あまりに渡って積み重ねてきた研究・実践は、地域包括ケアシステムの構築や多職種連携・協働における情報の視点からの方法論として取りまとめていくに十分であり、また、その情報発信は、この領域を専門とする本学会に求められる責務でもあります。

このような思いの下、そもそも福祉・介護の情報化とは何であるか、本学会は、どこまでを守備範囲とし、時代の要請に応えるために深化させていかなければならない領域は何であるかなどを学会会員が語り合い、学会活動を活性化させることを目的としたワークショップを開催することになりました。

今回のワークショップは、学会会員が双方向で交流することを目的とする初めての試みであり、今後の本学会の方向性を定める重要なイベントとなります。奮ってご参加いただきますよう、お願いいたします。

《テーマ（仮題）》

改めて、福祉・介護の情報化・ICT化とは何であるか

《日時》

2015年3月22日（日）13：30～17：00

《会場》

立教大学 池袋キャンパス 1号館 1104室

<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campusmap/>

《お願い事項》

参加申込にあたっては、研究テーマや関心事項をお知らせください。ワークショップの構成の検討、グループディスカッションのテーブル分けにあたっての参考情報とさせていただきます。後日となりますが、会員用 ML にてオンラインでの参加申込・情報登録の方法をお知らせいたします。